

新しく近畿大学工業高等専門学校の一員になられた皆さんを、私たち教職員は心より祝福し、歓迎いたします。また、皆さんを今まで支えてこられたご家族や関係者の皆様にお喜び申し上げます。

ご承知のとおり、「高専」は大学とも専門学校とも異なる、本科5年、専攻科2年の高等教育機関です。卒業・修了の際には、大学工学部と同様、専門の基礎技術を身に付けた技術者として就職することができます。

「自分は英語が嫌いだから高専に来た」という学生もいるかもしれませんが。しかし本校では、英語技能の検定試験の一つ「TOEIC」に特化した選択授業を複数開講しています。昨年度の4年生には、春にはTOEIC300点台だったのに、1年間で、留学することなく850点まで上達した学生がいます。過去にも、やはり留学無しで本校在学中に900点越えをした学生も輩出しています。

本校の特長は「個性を尊

〈平成31年度入学式 式辞〉

高い評価を受ける高専生

校長 村田圭治



す。高専生の数は同年齢人口の約1%と少数派ですが、企業や編入学先の大学では高い評価を受けています。さくらインターネット、コプロラ、グノシーといった若い上場ネット企業の創業メンバーは高専出身者です。高専は、起業においても注目を浴びつつあります。

本校にはCAD・CAE・CAI・CALといったコンピュータ室が4つあり、その一つをレイアウトフリーなActive Learning教室へ改造し、Google社のOSノートパソコン：Chromebookを導入、複数の壁面で利用できるプロジェクトの導入等々を進める予定です。

グローバル人材の育成・教育研究環境の国際化のための取り組みも行っています。例えば英国チェシャーカレッジS&Wとの国際交流に関する賞書を締結し、1年ごとに学生と教員が相手カレッジを訪問してホームステイする国際交流プログラム、あるいは夏期短期留学プログラムなどを計画しています。

重したきめ細かい教育」です。専門はもちろん、英語や数学、物理などそれぞれに秀でた教員が多数在籍し、きめ細かく指導してくれます。英語のネイティブ教員も専任で在席しています。もちろん、野球・サッカー・ソフトテニス・陸上競技などについては、実績を有する監督・コーチ陣が指導しています。

また、保護者の皆さまの協力で作られた「資格取得支援制度」や「クラブ活動や学会活動を支援する制度」など、努力する学生が支援され、優遇される学校となっています。自ら進んで先生方や支援制度を活用してください。

部活動、学生会活動、あるいはロボコン、プロコン、デザコンといった各種コンテストに取り組むなど、学生生活を思いっきり楽しみながら、コツコツ勉学に励んでください。そうすれば、5年後あるいは2年後には、希望の進路をしっかりとつかみ取れるはず。必ずや「近大高専に来て良かった」と、皆が思ってくれると確信しています。

力を発揮し、さらに豊かな世界をつくる貢献ができるよう頑張ってください。と考えると確信しています。



新入生・編入生に聞きました

自分の将来見つける



小さいころからサッカーが好きで、スポーツに打ち込める環境があって地元の同級生も多い近大高専を選びました。にぎやかな雰囲気が入っています。高校サッカーで結果を残せるよう頑張るのももちろん、自分が将来進んでいく分野がどのようなかを見つけていきたいです。(中島漸さん、名張市立北中出身)

分かりやすい授業、豊かな個性



家から近く、毎年秋の「高専名張祭」などで雰囲気もよく知っていたので、近大高専にはなじみがありました。先生方の授業は分かりやすく、英語も上達させたいです。将来はICTに関する仕事ができたいと考えています。(曾我部未夢さん、名張市立南中学校出身)

幅広い進路、先生との近さ



高校の復習から専門的な内容まで、身近な話題を例に楽しく学べています。先生方には「こうすれば、こんなことができる」と建設的なアドバイスを日々頂いています。目標とする一級建築士資格の取得以外にも、幅広い進路が見えて楽しみです。(間中瑞葵さん、新潟県出身)

高校と違う「本気度」



今春、工業高校を卒業して地元企業に勤めようと考えていましたが、まだまだ技術も知識も足りないと感じ、近大高専で更に学ぼうと編入しました。同級生や先生方も、高校での3年間とは「本気度」が違うなど感じます。将来、家族や地元貢献できる人材になりたいと考えています。(橋本涼太さん、和歌山県出身)

情報社会担う人材育成



来春から学生募集



国全体としてサイバーセキュリティ人材の育成が急務となるなか、本校でもゲームクリエイターやVR・AIなどの技術者を中心に、明確な目的や具体的な進路を胸に入学する学生が増えてきました。令和2(2020)年4月から、制御情報コースのカリキュラムを刷新し、サイバーセキュリティやゲーム・CG、AIやロボットを学べる「伊賀名張流サイバーエンジニア養成講座『忍(しのび)Project』」をスタートします。従来の工学実験の内容や目的

を明確化し、「サイバーセキュリティ」「WEB・CG・ゲーム」「AI・ロボティクス」の3つの科目群に再編。サーバー攻撃を実例から学んだり、実際にサーバーを設けてセキュリティホールについて考えたりと、学びやすい流れで実践的な学習を進めます。WEBプログラミングでは、高専では初めて、株式会社ドワンゴ・N予備校の教材を活用します。

プロジェクトの詳細は、今後開催予定の学校説明会などでご説明します。

各分野で力発揮

208人が入学&編入学

平成30年度卒業・修了生 進路一覧 (平成31年3月31日現在)

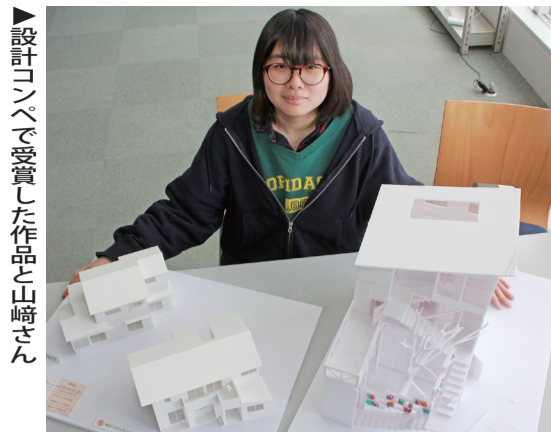
Table with columns for Job (就職), University (進学), and Graduate School (専攻科). Lists various companies and educational institutions with corresponding student counts.

# 学生設計の住宅完成

リノベーション設計コンペで受賞 山崎さん



▲完成間近のリノベーション住宅



2017年に名張市古住宅流通促進協議会主催「伊賀優良住宅学生設計コンペ」で優秀賞に輝いた山崎信乃さん(都市環境コース平成30年度卒)の作品をもとに、実際に名張市内の住宅がリノベーションされました。卒業研究室単位で現地へ見学に行った学生たちは、同級生が設計したということもあり熱心に見学していました。

# 高専名張祭

近大高専の年間最大イベント「高専名張祭」。2018年度のテーマは「和！バラエティと工学の融合〜今年は晴れてきた祭〜」で、地元を始め各地からたくさんの方にご来場いただきました。メインイベントは「SILENT



「SIREN」の皆さんによるスペシャルライブ。10月19日の前夜祭から、20、21日まで、学生による模擬店やものづくり体験、部活動紹介、小中学生ロボットコンテストなど、多種多様な催しがありました。

# 女子学生の日常紹介

高専女子フォーラム

12月23日に近畿大学11月ホールで「高専女子フォーラムin関西」が開かれ、近畿地区を中心に全国の現役女子学生が高専の研究・専門教育・学生生活についてポスターで紹介しました。前半は中学生・保護者と企業担当者に向けたポスター発表で、本校からは6名の学生が参加し、特進コース、コース選択、ボランティア活動、工学実験、研究などについて説明しました。後半は企業からの説明を聞き、この日の発表や聴講、他の高専の女子学生との交流は、本人たちの自信になり、きつと将来の進路につなげてくれるでしょう。



# 自転車レース初優勝

卒研でもものづくり工房

技術者を志す機械系が活動する「ものづくり工房」では、工作機械や加工機を使って知識・技能の習得を目指す他、ロボットやソーラーカーの研究、国家資格取得を目指した訓練などにも取り組んでいます。

20インチ以上の自転車に、同社製の単3充電電池40本とモーターを搭載し、鈴鹿サーキットの東コース(1周約2.25km)を走るラップタイム1時間走行の周回数で順位を争うもので、5年生5人と教員2人が、昨春から

# 旅行 北海道でスキー満喫

2月18日から5日間、2年生16人(うち女子10人)と引率教員5人が北海道への研修旅行に参加しました。主にスキー・スノーボード研修と、近畿大学バイオコース研究所の見学でした。前半2日間はトマムでスキーやスノーボードを体験。初心者からベテランまで、学生は18のグループに分かれ、インストラクターから指導を受け楽しく滑っていました。



21日にはバイオコース研究所を見学し、札幌へ。自由行動の後、学生全員を集めた夜の研修会を行いました。同校では本校出身の技術者も活躍し、本校の講師として学生たちの実践的指導に当たっている方もいます。

# 白熱の「NO.1グランプリ」



昨年6月、学生会主催の「KUTC No.1 グランプリ」が2日間開催されました。梅雨の時期にもかかわらず、学生の熱い思いで晴天に恵まれ、気温も上昇。団体&個人競技で近大高専ナンバーワンを目指して頑張りました。運動系・文化系の競技では一人ひとりが全力で競技し、熱戦を繰り広げました。クラス対抗リレーでは最後まで声援と歓声が響き、クラスの団結や最高の笑顔が見られました。

# 新任教員紹介



准教授 小山 幸伸 (電気電子コース)

直近3年間は大阪情報工科大学に勤務し、特に昨年度は5年の担任を務め、進路指導を経験しました。物性理論で学位を取得し、最近では主に情報学と宇宙地球物理学の融合領域で研究を進めてきましたが、実は奈良高専電気工学科の卒業生であり、高専生時代は電子工作とプログラミングに熱中していました。実家が榛原ということで、幼いころからなじみの名張に腰を据え、教育・研究に携わりたいと思います。よろしくお願いいたします。



講師 畷田 英也 (共通教育科・数学)

昨年末に大阪市立大学で博士(理学)を取得しました。専門は代数的トポロジーです。「代数」とは「計算」、「トポロジー」とは「図形」のことです。私が興味を持つのは図形の分類問題です。特に目には見えない(絵に書けない)図形を分類するには、図形から決まる「ある量」を計算することで分類します。数学は簡単な科目ではありません。私自身は学生のころは数学が(大好きでしたが)苦手だったので、同じように数学で苦しんでいる人の助けになればと考えています。

# 卒業式

日本の技術を世界へ 154人巣立つ

ミーティングの時、それは起こりました。強い地震。驚いたのはその大きさと、素早く学生全員がテーブルの下に隠れたことでした。日頃の避難訓練の賜物で、全員の無事を確認できました。大きな余震もなく、翌22日には名張に向けて帰途につきました。

平成30年度の卒業・修了証書授与式を3月16日に挙行し、5年生145人と専攻科生9人が近大高専を巣立ちました。

卒業生・修了生代表の大岸裕登さん(情報コミュニケーションコース)は「5年間、仲間との友情や先生方の支えによって大きく成長することができました。現代は変化と多様性の時代。高専出身の経歴に誇りを持って一層自己啓発に励みます。AIやIoT、技術革新に対応できる人材になってください」と言葉をかけました。



# 伝統の松明調進に参加



東大寺お水取りで使う松明を運ぶ「松明調進行事(3月12日)」に、今年もサッカー部の1年生12人と教員が参加させて頂きました。

# 市民公開講座

- 【第1回】5/18 森田日出男・元日産自動車開発部、前三重県産業支援センター企画事業調整課「現場情報が育てる自動車システム・信頼性技術」
  - 【第2回】6/22 今井寛・三重大学医学部附属病院救命救急センター教授「救急医療の現状について〜皆様ができること〜」
  - 【第3回】9/14 清水潔・前皇學館大学学長
  - 【第4回】10/12 細井美彦・近畿大学学長(予定) ※第3回、第4回の演題は未定
  - 【第5回】11/2 安井宣仁・近大高専講師「最も身近な存在である『水』を知ろう！」
- 受講申し込みは本校事務部まで

最新情報はHPで! <https://www.ktc.ac.jp/> 近大高専 検索

オープンキャンパス 第1回 8月3日 「授業・実験」体験 ※事前申し込みでクラブ見学・相談可 第2回 10月19、20日 「高専名張祭を来しもう」 ※19日のみ近大附属高校との合同説明会 第3回 11月9日 「授業・実験」体験 ※事前申し込みでクラブ見学・相談可 第4回 12月7日 入試対策講座(個別相談会) 12月14日

# 各種表彰・研究発表など

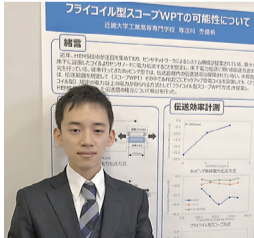


電気学会関西支部 高専卒研発表会 小原雅楽君(5年) 新田光平君(同)

ボルグワーナーイノベーション エクセレンスアワード 中谷航也さん(2016年度卒) 下野快生さん(同)



▲(左から)村田校長、下野さん、中谷さん、ボルグ社・三島邦彦社長



電子情報通信学会東海支部 卒業研究発表会 優秀卒業研究発表賞 禿優希君(専攻科2年)

日本高専学会 第24回年会講演会 最優秀ポスター発表賞 喜田大貴君(専攻科1年)



国際学会「13th ISEM'18」最高賞(CASIO Challenge Award) 高橋明太郎君(専攻科1年) 松本勇樹君(同)

クラブ活動 主な成績(平成30年度) 全国高校総体三重県大会 3位 サッカー部 第71回秋季東海地区高校野球三重県大会 ベスト8 硬式野球部 優勝 ソフトテニス部 優勝 硬式テニス部 サッカー部 陸上男子総合 三段跳伊藤陸君が県高校記録更新 3位 柔道部 「Ene-1」グランプリ SUZUKA KV・BIKEチャレンジャー 大学・高専・専門学校の門 優勝